

ほけんだより臨時号

松橋支援学校

保健室

平成30年5月22日

〈手足口病の予防についてのお知らせ〉

本校で手足口病の発生が報告されました。

手足口病はウイルスによる感染症で、人と人との接触や飛沫で感染するため、集団生活で広がります。感染の予防・拡大防止のため、ご協力をお願いします。

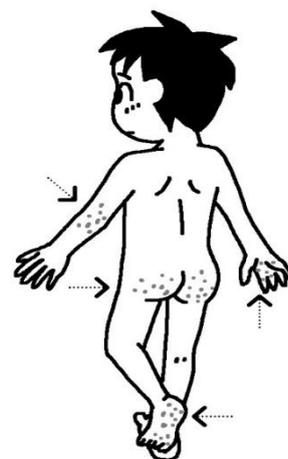
【手足口病の症状は？】

3～6日の潜伏期間の後、手のひら、足の裏、手足の甲、ひじやひざまわり、おしりなどに、紅色の細かい発疹や水疱ができます。

口の中（上あごや歯肉など）にも粘膜疹ができます。

37～38℃程度の熱が出ることもありますが、まったく平熱のまま経過することもあります。

まれにウイルスの種類によっては、無菌性髄膜炎などの合併症を引き起こすこともあります。



【手足口病の感染経路】

ウイルスはのどからは1～2週間程度、便からは3～5週間排泄されます。感染には、ウイルスが含まれる飛沫を口から吸い込む飛沫感染と、のど、鼻からの分泌物や便などのウイルスが手から鼻口に入る接触感染があります。



【手足口病を予防するには？】

夏に流行しやすい感染症です。

- ① 手洗いをしっかりとしましょう。特に排便後が大切です。
- ② プールではシャワーをよく浴びるようにしましょう。

【手足口病にかかったら】

すぐに治療しましょう。手足口病が不明な場合も受診をお願いします。登校については医師にご相談ください。

病院を受診後、手足口病と分かったときには、学校での感染拡大防止のためにも必ずお知らせください。

